

短 報

**理学療法・作業療法学生における生活実態調査**

森下祥朋，板東奈保子，宮本祥子，竹林秀晃，白井里佳，宅間 豊

**土佐リハビリテーションジャーナル**

第2号 別刷

2003年12月29日発行

土佐リハビリテーションカレッジ

報告

## 理学療法・作業療法学生における生活実態調査

森下祥朋<sup>1)</sup>, 坂東奈保子<sup>1)</sup>, 宮本祥子<sup>2)</sup>  
竹林秀晃<sup>2)</sup>, 白井里佳<sup>1)</sup>, 宅間 豊<sup>2)</sup>

1) 土佐リハビリテーションカレッジ 作業療法学科

2) 土佐リハビリテーションカレッジ 理学療法学科

## Research on the Actual Condition of life for the Students of Physical Therapy and Occupational Therapy

Yoshitomo MORISHITA<sup>1)</sup>, Naoko BANDO<sup>1)</sup>, Shoko MIYAMOTO<sup>2)</sup>  
Hideaki TAKEBAYASHI<sup>2)</sup>, Rika SHIRAI<sup>1)</sup>, Yutaka TAKUMA<sup>2)</sup>

1) Department of Physical Therapy Tosa Rehabilitation College

2) Department of Occupational Therapy Tosa Rehabilitation College

Key Words : 学生生活実態調査 理学療法学科学生 作業療法学科学生

### はじめに

土佐リハビリテーションカレッジの理学療法学科(以下PT学科), 作業療法学科(以下OT学科)に在籍する1年生から4年生の学生に対して平成15年7月にアンケート調査を実施した。1年生から3年生までの学生には, より良い学生指導を行うことを目的とし, 本学における学生の生活実態状況を明らかにするためのアンケート調査を実施し, 4年生には4年次に行われる臨床総合実習中の生活状況(実習中の生活費, 勉強時間, 睡眠時間等)に関するアンケートを行った。

今回, 両学科の1年生から3年生に行った学生生活実態調査のアンケート内容と結果について報告する。

### 対象と方法

土佐リハビリテーションカレッジPT学科およびOT学科の1年生から3年生, 計202名の学生に, 生活状況に関するアンケートを実施した。学生の内訳はPT学科1年生が34名, 2年生が35名, 3年生が32名, OT学科1年生が31名, 2年生が44名, 3年生が26名である。調査は平成15年7月に行い, アンケートに際しては, 学生を一定の教室に集めて, その場で記載し回収する集合調査の方式で行った。

調査内容は,<sup>1)</sup>基礎的情報(回答者の出身地, 出身学校, 就労経験),<sup>2)</sup>住居区分や生活費,<sup>3)</sup>アルバイト経験や頻度,<sup>4)</sup>1日あたりの自己学習の平均時間,<sup>5)</sup>1日あたりの平均睡眠時間, である。また, 回答は単一回答と複数回答, 自由回答法をとった。

今回の報告では、学科ごとの集計結果をまとめて記載することとした。

### 結果

今回行ったアンケートの回答状況および回収率は、PT学科1年生33名(97%)、2年生35名(100%)、3年生30名(94%)、OT学科においては1年生31名(100%)、2年生39名(89%)、3年生26名(100%)であり、回収率の平均は97%であった。

以下、質問ごとの回収結果を示す。

1) 基礎的情報(回答者の出身地、出身学校、就労経験)

回答者の出身地は高知県内がPT学科、OT学科ともに圧倒的に多く、全体の64%であった。ついで高知県を除く四国地方、九州地方、近畿地方、中国地方、中部・関東地方の順であった。(表1-a)

また、最終出身学校に関しては、高等学校出身者が全体の83%を占めており、以下大学、専修・専門学校、短期大学の順であった。(表1-b)

就労経験のある者は26%、就労経験のない者は74%であり、就労経験のない学生が大多数を占めた。(表1-c)

2) 住居区分や生活費

学生が生活している住居に関しては、PT学科では学生寮が多く、ついで自宅、アパートの順になっているのに対して、OT学科においては自宅、学生寮、アパートの順であった。(表2-a)

生活費(家賃を除いた食費、光熱費、通信費、教養・娯楽、雑費などに合計)について、両学科とも2万円から4万円の学生が最も多く、ついで4万円から6万円の順であった。(表2-b)

3) アルバイト経験や頻度

現在、アルバイトをしている学生はPT学科では44名で、OT学科では37名であった。また、これまでアルバイトの経験がある学生は全体の73%に上る。(表3-a)

アルバイトでの1週間の頻度に関しては、3~4日行っている学生が最も多く、1~2日、5~6日、不定期、毎日の順であった。(表3-b)

4) 1日あたりの自己学習の平均時間

両学科とも1日あたりの自己学習平均時間は1時間未満が圧倒的に多く、全体の71%を占めていた。

表1-a 出身地 (人)

出身地	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
高知県内	54(55)	68(76)	122(65)
四国地方	20(21)	12(13)	32(17)
九州地方	12(12)	4(5)	16(9)
中国地方	3(3)	3(3)	6(3)
近畿地方	7(7)	3(3)	10(5)
中部・関東	2(2)	0(0)	2(1)
計	98(100)	90(100)	188(100)

表1-b 出身学校 (人)

出身学校	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
高等学校	78(80)	78(87)	156(84)
専修・専門学校	7(7)	5(6)	12(6)
短期大学	2(2)	3(3)	5(2)
大学	11(11)	4(4)	15(8)
計	98(100)	90(100)	188(100)

表1-c 基礎的情報(就労経験) (人)

就労経験	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
ある	26(31)	15(20)	41(26)
なし	58(69)	60(80)	118(74)
計	84(100)	75(100)	159(100)

表2-a 住居区分 (人)

住居区分	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
自宅	34(35)	50(56)	84(45)
知人・親戚宅	0(0)	0(0)	0(0)
学生寮	41(42)	31(34)	72(38)
アパート	23(23)	9(10)	32(17)
下宿	0(0)	0(0)	0(0)
計	98(100)	90(100)	188(100)

表2-b 生活費 (人)

生活費	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
2万~4万	47(75)	31(79)	78(76)
4万~6万	16(25)	6(15)	22(22)
6万~8万	0(0)	1(3)	1(1)
8万~10万	0(0)	1(3)	1(1)
10万円以上	0(0)	0(0)	0(0)
計	63(100)	39(100)	102(100)

表3 - a アルバイト経験 (人)

出身学校	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
している	44(44)	37(42)	81(44)
していた	27(28)	27(31)	54(29)
経験なし	27(28)	24(27)	51(27)
計	98(100)	88(100)	186(100)

表3 - b アルバイトの頻度 (人)

頻度	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
1～2日	21(30)	16(25)	37(28)
3～4日	28(40)	27(43)	55(41)
5～6日	10(14)	14(22)	24(18)
毎日	2(3)	0(0)	2(2)
不定期	9(13)	6(10)	15(11)
計	70(100)	63(100)	133(100)

表4 自己学習の平均時間 (人)

学習時間	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
1時間未満	62(64)	70(79)	132(71)
1～2時間	30(31)	17(19)	47(25)
2～3時間	5(5)	2(2)	7(4)
3時間以上	0(0)	0(0)	0(0)
計	97(100)	89(100)	186(100)

表5 平均睡眠時間 (人)

睡眠時間	PT学科(%)	OT学科(%)	全体(%)
2時間未満	0(0)	1(1)	1(1)
2～4時間	9(9)	6(7)	15(8)
4～6時間	46(47)	38(43)	84(45)
6～8時間	42(43)	43(48)	85(45)
8時間以上	1(1)	1(1)	2(1)
計	98(100)	89(100)	187(100)

ついで1～2時間、2～3時間の順であった。(表4)

#### 5) 1日あたりの自己学習の平均時間

1日の平均睡眠時間については6～8時間が最も多く、ついで4～6時間、2～4時間、8時間以上、1時間未満の順となっている。

### 考 察

今回、より良い学生指導を行っていくために、学生の生活実態調査を行い、その結果について報告した。

今回の調査により、本校に在籍する学生の64%が高知県内出身者であることが分かり、県内出身者は年々増加傾向にある。今後もさらにこの傾向が強まっていくことが予想される。県内出身者の増加に伴い、自宅から通学している学生も全体の45%と多かった。

生活費に関しては1ヶ月2～4万円という学生が多く、その内訳については今回の調査では分からないが、思いのほか少ない金額でやりくりしている学生が多かった。

アルバイトに関しては現在行っている学生が全体の44%を占め、在学中に行ったことのある学生も含めると、学生全体の73%に上る。アルバイトが学生の学習時間や睡眠時間にどのような影響を与えているのかは分からないが、なんらかの影響を与えているのではないと思われる。

本校における学生の自己学習平均時間は、1時間未満という学生が全体の71%を占め、圧倒的に多かった。この平均時間は試験期間中を除いた時間の平均であるが、あまりにも自己学習時間が少ないと言わざるを得ない。

アンケートの回答により、どの項目もPT学科、OT学科ともほぼ同じ傾向を示していた。今後は学生生活の状況が学業にどのような影響を及ぼしているのかということも調査していきたいと考えている。